



ドイツ証券株式会社、三菱地所株式会社の10年無担保社債発行で単独主幹事

【2008年7月16日、東京】一ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：デイビッド・ハット）は、本日、三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区、取締役社長：木村恵司）による第92回無担保社債発行で単独主幹事を務め、同起債を成功裡にローンチした旨を公表しました。

三菱地所株式会社が今回発行した国内公募社債は、発行総額150億円、利率は年1.84%、償還期限2018年7月24日（期間10年間、満期一括償還）、発行価額100円（額面）、払込期日は2008年7月24日、利払日は毎年1月24日と7月24日の年2回（初回は2009年1月23日）となっています。

本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから Aa3（ダブル A スリー）、株式会社格付投資情報センターから AA（ダブル A）、スタンダード&プアーズから A+（シングル A プラス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社のグローバル・キャピタル・マーケッツ本部長である野本祐司は、次のように述べています。「不動産関連企業にとり資金調達が難しい市場環境にもかかわらず、10年債を総額150億円の規模で起債出来たことを、主幹事として大変光栄に思います。特に、必ずしも良好とはいえない起債環境を受けて、発行条件の調整を余儀なくされる起債案件が散見される現在の状況下において、発行体である三菱地所株式会社は、当社新発債に対する投資家からの強い需要を受けて、通例を超える発行額を、前回とほぼ同等の条件にての起債を実現されました。これは、資本市場がご発行体の信用力を非常に高く評価していることの証左と考えています。弊社は、これからもお取引先の財務・経営戦略ニーズに的確にお応えするべく、長年に亘り世界各国にて培った経験とノウハウを活かして幅広い金融商品やサービスをご提供していく所存です。」

以上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は7万8,275人にのぼり、世界76カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては1,410名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

【商号】 ドイツ証券株式会社
【登録番号】 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第117号
【加入協会】 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

リスクについて:

「三菱地所株式会社による第 92 回無担保社債」は、金利水準の動向、及び、信託財産の資産の信用力や発行者の信用状況、為替変動、金融市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生ずることとなるおそれがあります。

その他の留意事項:

本資料は、ドイツ証券株式会社が「三菱地所株式会社による第 92 回無担保社債」の発行についてお伝えすることのみを目的として作成したものです。当該債券を当社との相対取引により購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。なお、購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。また、「リスクについて」で記述されている通り、発行体の信用や市場・経済動向、為替および価格の変動等により、また、内包される財務、法律、税務、会計上などのリスクにより、損失を生じるおそれがあります。当該商品への実際の投資にあたっては、「目論見書」並びに「契約締結前書面」等をよくお読みになり、内容についてご理解・ご承諾のうえ、お客様ご自身のご判断で投資いただくようお願い致します。